

## 日本庭園へのミヤコワスレ 植栽記録

小川恒彦・久保晴盛

日本庭園の魅力向上のため、継続して植栽変更を行っており、平成29年度はハナショウブ園の南側（フジ棚周辺）部分の整備を行った。

植栽変更の経緯としては、元々この場所に植栽されていたケヤキが北側にあるハナショウブを被陰し生育の妨げとなっていたこと、日本庭園に集客できる花期の長い草本を導入したいことなどが挙げられる。平成28年2月にケヤキとサツキの抜根除去および老朽化した案内看板の撤去をし、整地後に周辺を囲むように石組みを行った。3月に生け垣の設置、4月にミヤコワスレ138株およびイカリソウ30株の植付け（株間15cm）を行った。定植後の生育は概ね順調である。ミヤコワスレの植栽により、日本庭園では春先から夏までの期間、途切れることなく見頃の植物を鑑賞することができるようになった。



写真1 植栽変更前の現場（平成28年1月19日）



写真2 ケヤキの抜根除去（平成28年2月11日）



写真3 石組み（平成28年2月23日）



写真4 植付け（平成28年4月1日）



写真5 植栽変更完了（平成28年4月11日）